

シート番号	3102-01	名 称	富士講碑
分 類	供養塔	場 所	人見 人見神社
小 分 類	参拝供養塔	メッシュ番号	1715
年 号	和暦：明治12年1月 西暦：1879年		
形 状	自然石型		
サ イ ズ	高：120cm、		
画像番号	3102-01-01 (正面)	画像番号	3102-01-02 (裏面)
			
<p style="text-align: center;">参明藤開山</p>		<p style="text-align: center;">明治十二年第一月再建</p>	
<p>コメント；参明藤開山「サンミョウトウカイザン」と読み、富士山をたたえる言葉です。戦国時代の行者で富士講の祖・角行が「明らかに富士山を開く」という意味で「明藤開山」を厄除けのための様々な「オフセギ」に使ったのが始まりで、これに富士講を確立した角行の後継者の一人である身禄が、三尊を示す「参」の字を加えて「参明藤開山」が誕生しました。</p> <p>人見神社山頂は、富士山の眺望がすばらしく、その美しさは昔も今も変わりありません。</p>			